

2014年度秋季 大阪大学 言語社会学会・言語文化学会 合同研究発表会
(大阪大学言語文化学会 第46回大会)2014.10.23(木)

A棟2階 大会議室												
開会の辞 言語文化学会会長（言語文化研究科長）我田 広之												
第1室 (B棟1F大会議室)			第2室 (A棟2F大会議室)			第3室 (A棟3F講義室)			第4室 (A棟3F第1演習室)			
15:10- 15:20												
15:20- 15:50	外国語学習の継続に影響を及ぼす要因 —韓国語学習者の学習への解釈を中心 に—			権力者のジレンマ—The Sirens of Titanに おける“Author”の崩壊			状況確認発話とその応答に見られる発話の 音調パターンと機能について —親しい女子学生同士の電話会話の場合—			「天声人語」コラム、「どうにかなるさ」を 日本語話者はどう評価するか		
	発表者:	金 孝善	言語文化専攻 (D1)	発表者:	三宅 一平	言語社会専攻 (M2)	発表者:	甲斐 朋子	言語文化専攻 (D3)	発表者:	笹川 恵美 子	言語文化専攻 (D3)
	司会:	岸田文隆	言語社会専攻	司会:	里内 克巳	言語文化専攻	司会:	瀧田 恵巳	言語文化専攻	司会:	大森 文子	言語文化専攻
16:00- 16:30	日本人大学生の韓国語優秀学習者の研究—発表能力優秀学習者の学習ストラ テジーを中心に—			In the Country of Last Thingsにおける熱的 死と弔い			“……(, /。)这/那就是[注解]”と“……(, /。)就是 [注解]” ——現代中国語の注解表現における文脈指示詞の 有無について——			死亡フラグが想起される表現の形式と意味・機能につ いて —俺…、この学会発表が無事終わったら、彼女と結婚 するんだ…。—		
	発表者:	白 姫恩	言語文化専攻 (M2)	発表者:	高田 勇介	言語社会専攻 (M1)	発表者:	小野 絵理	言語社会専攻 (D2)	発表者:	板垣 浩正	言語文化専攻 (M1)
	司会:	岸田文隆	言語社会専攻	司会:	里内 克巳	言語文化専攻	司会:	小門 典夫	言語文化専攻	司会:	秋田 喜美	言語文化専攻
16:40- 17:10	1920年代前半のメイエルホリド作品にお ける空間処理			明治漢文怪異小説における画霊譚の展開 について			中国語の新語における「三音節名詞」 の構造と意味			近世期日朝対訳資料に現れた人称代名 詞の研究 —「隣語大方」を資料として—		
	発表者:	池坂 麻記	言語社会専攻 (D3)	発表者:	轟 晶	言語文化専攻 (D2)	発表者:	袁 曉今	言語社会専攻 (D3)	発表者:	金 文姫	言語社会専攻 (D2)
	司会:	ヨコタ村上 孝 之	言語文化専攻	司会:	小口 一郎	言語文化専攻	司会:	小門 典夫	言語文化専攻	司会:	植田 晃次	言語文化専攻
17:20- 17:50	アメリカ帝国主義と日本開港			第二言語学習場面における談話による小 学生のアイデンティティ構築			現代ピクトグラム評価方法の中国古代 文字(甲骨文・金文)への適用について					
	発表者:	藤原 郁郎	言語社会専攻 (D3)	発表者:	泉谷 律子	言語文化専攻 (D1)	発表者:	Vinogradova Daria	言語文化専攻 (D3)			
	司会:	霜鳥 慶邦	言語文化専攻	司会:	眞嶋潤子	日本語・日本文化専攻	司会:	山下 仁	言語文化専攻			
18:10- 20:00	懇親会 会場:生協「豊中福利会館4階食堂」 (会費:教員・修了生 3,000円 院生 1,000円 発表者 500円)											